

平成30年度 国語科「現代文B」SYLLABUS

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 第3学年 特文クラス
教科書	精選 現代文B (三省堂) 現B304	副教材等	漢字トレーニング (いわずな書店) 新訂 最新国語 新演習現代文アチーブ3

1. 学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、進んで読書することによって、国語の向上を図る。多くの情報の中から必要なものを選び、それを整理して自己表現する技術を身に付け、論述力を向上させる。

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用
前 期	4	評論	「「ブーボー」と「マンマ」の記号論」 池上嘉彦	・筆者が述べる「符号」と「記号」の違いをふまえ、人間が日常 超えようとする創造の営みについて考える。
		評論	「サワルとフレル」長嶋喜郎	・似た言葉の違いを明らかにするために取り上げられている具 を比較、検討し、実際に用例を挙げて違いを明らかにすることができ ようにする。
		現代評論を読むために	「言語」	・デカルト、ソシュール等の基礎知識から「記号論」について学 ぶ。
	5	小説	「靴の話」大岡昇平	・「靴」を巡るできごとやその描写を通して、「私」の置かれて いた心理状態について読み味わい、表現の仕方について学ぶ。
		小説	「靴」安倍公房	・「靴」に対する「私」の考え方の変化を読み味わう。安倍公房 独特の文体と描かれているテーマについて、グループで討論し、 想文にまとめてみる。
		評論	「身体〈の〉疎外」黒崎政男	・テクノロジーの発達によって、身体が私たちの心や意識 支配し、疎外しているという理論を読み取る。
	6	評論	「判断停止の快感」大西赤人	・現代の「清潔願望」が「判断停止の快感」へとつながっていると 筆者の理論展開を読み取った上で、自分の考えを整理する。
		評論	「病と科学」柳澤佳子	・人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深 めた上で、自分の考えを整理する。
		現代評論を読むために	「生命・身体」	※尊厳死・遺伝子操作・臓器移植などの先端の医療問題につ 問題点を取り上げ、グループ学習で意見を述べ合い、自分の意見 論文にまとめる。
	7	現代詩歌	「樹下の二人」高村幸太郎 他 自由詩	・文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現のしかたなどにつ 話し合う。同時代の作家や、関係のある作家についても調べてみる。
		現代詩歌	「渡り鳥一俳句十五句」 高浜虚子 他	・近代から現代の代表的作者の十五句を読み味わい、そこに描かれ ている情景や作者の心情を読み取る力を養う。定型詩作者の研究
	9	評論	「『私』消え、止まらぬ連鎖」高村薫	・「欲望のための欲望」が渦巻く現代社会において、一個人として 「私」に問われていることを考える。
評論		「南の貧困/北の貧困」見田宗介	・筆者の論理展開をふまえ、「豊かさ」について考察し、自分の考 整理する。	
		※国際社会が抱える問題について	・現代社会が抱える問題「政治」「紛争」「宗教」等の基礎知識 現状について考察し、自分の意見をまとめる。	
10	評論	「虚ろなまなざし」岡真理	・一枚の写真とそれを巡るできごとに対する筆者の問題意識を読み取 る。	
	現代評論を読むために	「グローバル化」	・「資本主義」について考察し、歴史的変遷と現状、将来展望を含め 多角的に検討し、グループ討論を経て自分の考えをまとめる。	

学 期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用
		小説	「舞姫」森鷗外	・文語調の文体を味わい、描かれた時代背景と〈手記〉という形式に親ししながら、出来事の変遷と登場人物の心情の変化を読み取る
	11	小説	「飛行機で眠るのは難しい」小川洋子	・小説の世界を読み味わいながら、「男の話」を聞き終えた「私」起こった変化とその理由について考える。
		評論	「日本文化の雑種性」加藤周一	・筆者が述べる「日本文化の雑種性」について理解を深める
		批評のまなざし	「カタカナ語は享受すべきか」 川口良・角田史幸	・「外来語の氾濫」についての筆者の指摘をふまえ、自分の考えを整理する。
	12	評論	「無常ということ」小林秀雄	・筆者が述べる「歴史」と「思い出す」こととの関係について読み取る
		批評のまなざし	「ネット上の発言の劣化について」 内田樹	・筆者が指摘する「情報の階層化」という事態をふまえ、自分の考えを整理する。意見の展開の仕方を学ぶ。
	1	現代文演習	長文読解演習	・設問の特徴と、問に対する考え方、考え方、記述のしかたについて学ぶ。
論文演習		論文作成	・さまざまなテーマに対して、自分の考えをまとめ、それをまとめるための構成法、表現法について学ぶ。	
2				
3				

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し、表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその実力の向上を自ら進んで考え、それを論述・発表などの手段で、発信することができるか。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させる。ディベートやプレゼンテーションに積極的に参加しているか。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを表現させているか。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めさせているか。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。問いに的確に表現できるか。

4. 評価法

授業に取り組む姿勢や授業中の発問評価で関心・意欲・態度、単元ごとの小テスト、プリント学習のまとめテストの得点として評価し、定期考査で知識・表現力・理解度の評価を行う。これらを合計した得点を評定とするが平常点の得点は全上限とする。

5. 担当者からのメッセージ

第一に文章から新しい知識を吸収し、より広く、深く考えるための力を養うことを目指す。次に筆者の考えや気持ちを共感したり、時には批判したりする力とそれを表現する方法を身に付けることを目指したい。取り上げる項目は単位数に
ず、単位数が多いクラス程、深い内容を実施することとする。

語便覧（花島書店）

考え方を深め
自分の考えを

	評価
詩を	・語彙力テスト ・発問評価 ・提出課題
本例 きる	・記述点検 ・論文提出 【定期考査】
ぶ。	・発問評価 ・発問評価 ・グループ討論
の 感	・グループ討論 ・感想文作成
詩を	・発問評価 ・小テスト
ハウ	・発問評価 ・小テスト
採め	・グループ討論 ・論文作成
ハて を	・グループ討論 ・論文作成
ハて る。	・グループ討論 ・感想文作成 【定期考査】
てて ん。	・感想文作成 ・文学史小テスト
この	・感想文作成 ・文学史小テスト
えを	・発問評価
載と	・別資料 ・論文作成
る。	・発問評価 ・論文作成
わて	・グループ討論 ・小論文作成

【定期考査】	
留意 する。	・発問評価
評価の材料等	
に	・心情把握の演習
る。	・発問評価
を	・発問評価
る。	・発問評価
えを	・発問評価 ・論文作成
【定期考査】	
に	・解法解説
表現	・添削指導

図っているか。
きせているか。
えを深め、
を深め、発展
い。発問に対する

点を平常点
体の二割を

読み取り、
よって変え